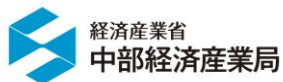


●主催



●協力

環境省中部地方環境事務所 環境パートナーシップ・CLUB (EPOC)

サーキュラーエコノミー最新動向セミナー2026 ～持続可能な成長への挑戦：戦略的アプローチと実践事例～

本セミナーでは、昨年11月に本格施行された再資源化事業等高度化法や資源有効利用促進法の改正などCE政策の最新動向、自動車業界における再生プラスチック使用拡大に向けた動静連携の取組事例に加え、大手メーカーによるCE型ビジネスの実践例について紹介します。

サーキュラーエコノミーへの移行に向けて事業環境が大きく変化していく中、CE型ビジネスに挑戦するきっかけとして、是非ご参加ください。

参加
無料

開催日時

2026年

2 / 25 (水)

13:30 ~ 16:30 (受付開始 13:00)

会場

オフィスパーク

名駅プレミアムホール & 会議室 4階403

名古屋市中村区名駅4丁目5番27号大一名駅ビル
※名古屋駅桜通口 ユニモール7番出口前

オンライン (Microsoft Teams)

定員

会場参加 : 100名 ※先着順

オンライン : 定員なし

プログラム

成長志向型の資源自律経済の確立に向けた取組について

経済産業省 GXグループ 資源循環経済課 課長補佐

今井 美希氏

自動車分野でのサーキュラーエコノミーの連携取組

トヨタ紡織株式会社 カーボンニュートラル環境センター

CN/CE推進室 室長

羽柴 正典氏

家電分野における循環型ものづくりとCE進化の取組ご紹介

パナソニックホールディングス株式会社 MI本部 兼

パナソニックETソリューションズ株式会社 CEエキスパート

田島 章男氏

循環経済の実現に向けた環境政策について

環境省 中部地方環境事務所 資源循環課 課長

赤塚 康司氏

※各演題の概要については裏面をご覧ください。

お
申
込
み
の
コ
チ
ラ
を
ス
ク
ア
ン



申込締切：2026年

02/19 (木)

https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/chubu01/20260225ce_entry

※ 会場参加については定員先着順となりますので、参加を希望される方はお早めにお申し込みください。

※ お申込みいただいた方へは、主催者から「受付完了メール」をお送りします。

主催：中部経済産業局資源エネルギー環境部 環境・資源循環経済課

●お問い合わせ先：セミナー運営事務局（株式会社マルワ内）

TEL：052-838-5466

Mail：seminar-aichi@jimukyoku.go.jp

13:30～13:35 開会挨拶

中部経済産業局
資源エネルギー環境部 部長 山田 容功

13:35～14:20

成長志向型の資源自律経済の確立に向けた取組について

近年では、廃棄物問題や気候変動問題に加え、世界的な資源需要と地政学的なリスクの高まりといった資源制約の観点から、資源の効率的・循環的な利用と付加価値の最大化を図る、「サーキュラーエコノミー」への移行が喫緊の課題となっています。これまで主に廃棄物処理や3Rの観点で進めてきた資源循環を、経済活動として進めていく意義が高まっており、本講演では、サーキュラーエコノミーの最新の動向について紹介します。

経済産業省 GXグループ 資源循環経済課 課長補佐

今井 美希 氏

14:20～15:00

自動車分野でのサーキュラーエコノミーの連携取組

サーキュラーエコノミーの実現には、自治体や静脈企業、メーカーとの連携が不可欠です。本講演では、環境省、経済産業省の委託事業として進めている容器包装廃プラスチック、建材系廃プラスチックの分別・回収からリサイクル処理、再生材の自動車部品への適用に至るまで、官民連携による資源循環の実践事例をご紹介します。

トヨタ紡織株式会社 カーボンニュートラル環境センター CN/CE推進室 室長

羽柴 正典 氏

15:10～15:50

家電分野における循環型ものづくりとCE進化の取組ご紹介

パナソニックのCE取組の原点である家電リサイクルから、製品の付加価値最大化と資源の価値最大化の両輪で推進するCEの考え方を実際の事例とともに紹介します。更にライフサイクル全体で顧客価値最大化を目指すことの重要性、自律分解ロボット開発によるCEの進化についても言及します。

パナソニックホールディングス株式会社 MI本部
兼 パナソニックETソリューションズ株式会社 CEエキスパート

田島 章男 氏

15:50～16:20

循環経済の実現に向けた環境政策について

資源循環分野における社会情勢の動向、循環経済に関する関係閣僚会議（第2回）で決定された循環経済への移行加速化パッケージ」に基づく、各般の施策についてご紹介します。

環境省 中部地方環境事務所 資源循環課 課長

赤塚 康司 氏

16:20～ 閉会・名刺交換（会場クローズまで）

<個人情報の取扱いについて>

ご入力いただいた個人情報は、当セミナーの運営に必要な範囲で利用させていただきます。また、主催者、協力機関からの各種案内・情報提供のために利用することがあります。承諾なく第三者に提供することや、利用目的以外に使用することは一切いたしません。